

**製品名: LRP5 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86485**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:179 kDa; Observed MW:200 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LRP5
別名	HBM; LR3; OPS; EVR1; EVR4; LRP7; OPPG; BMND1; LRP-5; LRP-7; OPTA1; PCLD4; VBCH2
遺伝子 ID	4041
SwissProt ID	O75197
免疫原	ヒト LRP5 の組み換えタンパク質

**背景**

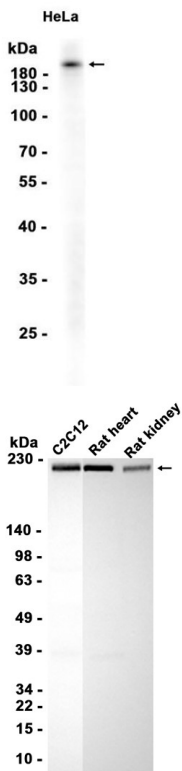
この遺伝子は、受容体を介したエンドサイトーシス過程においてリガンドに結合し、それを内部に取り込む膜貫通型低密度リポタン

パク質受容体をコードしています。このタンパク質は、Wnt タンパク質によるシグナル伝達において、Frizzled タンパク質ファミリーメンバーと共受容体として機能し、ヒトにおける 1 型糖尿病との関連性に基づいてクローニングされました。このタンパク質は骨格恒常性維持に重要な役割を果たしており、多くの骨密度関連疾患はこの遺伝子の変異によって引き起こされます。また、この遺伝子の変異は、家族性滲出性硝子体網膜症も引き起こします。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。  
[RefSeq 提供、2014 年 5 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



LRP5 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。

AMRe86485 を 1:1000 で使用して、C2C12 細胞およびラットの心臓、ラットの腎臓組織からの抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。